

イチジク（果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる）

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 （日 数）	使 用 回 数	疫 病	灰 色 か び 病	株 枯 病	黒 葉 枯 病	白 紋 羽 病	黒 か び 病	さ び 病	そ う か 病	ゆ 合 促 進
I Cボルドー66DFL	M1		-	-			◎						
Zボルドー水	M1		-	-	◎								
コサイド3000DF	M1		-	-	◎								
トップジンM水㊟	1		7	5			◎		◎		◎		
			1	6		灌							
トップジンMペースト㊟	1		*a	3									◎
ベンレート水㊟	1		30	5			◎						
フルーツセイバーFL	7		1	3		◎					◎		
アミスター10FL	11		1	3	◎			◎			◎	◎	
ライメイFL	21		1	3	◎								
ランマンFL	21		1	3	◎								
フロンスайдSC	29		30	1					◎				
ロブラール500アクアFL	2		3	3						◎			
アンビルFL	3		1	2							◎		
オンリーワンFL	3		*b	3			◎						
トリフミン水	3		1	3							◎	◎	
			1	4		◎							
ラリー水	3		1	4							◎		
レーバスFL	40		1	3	◎								
キノンドーFL	M1		60	3								◎	
ダコニール1000FL	M5		1	2	◎			◎		◎	◎		
パスポート顆水	M5		1	2	◎						◎		
デランFL	M9	劇	75	3								◎	

㊟：チオファネートメチル含有剤 ◎：ペノミル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ作での◎は使用しないこと。その逆も同様（種子への処理および塗布処理を除く）。*a:剪定整枝時、病患部削り取り直後及び病枝切除後

*b:生育期(但し収穫前日まで) *c:発病前～発病初期 灌：灌注

イチジク（果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる）

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒害性	使用時期（回数）	使用回数	アブラムシ	アザミウマ	カイガラムシ	シヨウジョウバエ	ヨトウム	ハスモンヨトウ	イチジクヒトリモドキ	アイノキクイムシ	カミキリムシ	キボシカミキリ	ハダニ	イチジクモンサビダニ	ネコブセンチュウ
スピノエース顆水	5		1	1		◎											
コロマイト水	6		1	1											◎		
コロマイト乳	6		1	1											◎		
パストリア水	-		*a	-													◎
			*b	-													◎
サンクリスタル乳	-		1	-											◎		
オルトラン水	1B		45	1		◎											
ガットサイドS乳	1B		*d	3								◎	◎	○			
			*e									◎					
ジェイエース溶	1B		45	1		◎											
ネマトリンエース粒	1B		60	1													◎
アードント水	3A		1	2	◎		◎	◎	◎						◎		
アデオン乳	3A		1	2	◎	◎				◎							
園芸用キンチョールE	3A		1	2										ク			
スカウトFL	3A	劇	1	3		◎											
アクタラ顆溶	4A		1	2		◎											
ダントツ溶	4A		3	3		◎							◎	○			
モスピラン顆溶	4A	劇	1	3		◎	◎			◎				◎			
トランスフォームFL	4C		7	3			◎										
ディアナWDG	5		1	2		◎		◎									
デリゲートWDG	5		1	2		◎		◎									
ネマモール乳	8A	劇	14	2													◎
ニッソラン水	10A		1	2											◎		
バロックFL	10B		1	1											◎		
コテツFL	13	劇	1	2		ヒ		◎							カ		
アブロードFL	16		14	2			幼										
マイトコーネFL	20D		1	1											◎		
サンマイト水	21A	劇	45	1											◎	◎	
ダニトロンFL	21A		3	1											◎	◎	
ピラニカ水	21A	劇	7	1											◎	◎	
スターマイトFL	25A		1	1											◎		
ダニサラバFL	25A		1	2											◎		
ダニコングFL	25B		1	1											◎		
テッパン液	28		1	2		◎		キ									
エクシレルSE	28		14	2		◎											
グレーシア乳	30		1	2		◎											
アブロードエースFL	16・21A		14	1			◎										

*a:生育期 *b:定植前 *d:4~7月(但し収穫7日前まで) *e:4~9月(但し収穫7日前まで)

カ:カンザワハダニ キ:キイロシヨウジョウバエ ク:クワカミキリ ヒ:ヒラズハナアザミウマ 幼:幼虫

イチジク（果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる）

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
疫病		<ol style="list-style-type: none"> 1. 株元周辺をワラ等でマルチする。 2. 発病果実は速やかに除去する。 	梅雨期～収穫期にかけて発生する。
	生育期	<ul style="list-style-type: none"> ・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 Zボルドー(水) 1000倍 ダコニール1000(FL) 2000倍 ランマンフロアブル 2000倍 	
黒かび病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発病果実を速やかに除去する。 2. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 <ul style="list-style-type: none"> トップジンM水和剤① 1000～1500倍 ロブラール500アクア(FL) 1000倍 	
アザミウマ類		<ul style="list-style-type: none"> ・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 スカウトフロアブル 2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000倍 	
カイガラムシ類		<ul style="list-style-type: none"> ・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アブロードフロアブル 1000倍 	
カミキリムシ類 (キボシカミキリ・クワカミキリ)	成虫発生期 生育期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 園全体をネットで覆い、成虫の侵入を阻止する。内部で発生した成虫は捕殺する。 2. 発生を見たら次の薬剤を塗布する。 <ul style="list-style-type: none"> ガットサイドS#1 原液を株元から結果母枝まで塗布する。 <ol style="list-style-type: none"> 3. 発生を見たら次の薬剤を使用する。 <ul style="list-style-type: none"> 園芸用キンチョールE#2 クワカミキリ食入部にフズルを差し込み、薬剤が食入部から流出するまで噴射する。 	<p>* 果樹類での登録</p> <p>キボシカミキリの発生時期は6月から10月、クワカミキリは6月から9月である。</p> <p>#1クワカミキリの産卵痕に塗布すると効果的である。</p> <p>#2クワカミキリで登録園芸用のため小規模栽培向き。</p>
ハダニ類		<ul style="list-style-type: none"> ・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 サンマイルト水和剤 1000～1500倍 ダニトロンフロアブル 1000～2000倍 マイルトコーネフロアブル 1000倍 	
その他の病害虫		株枯病、灰色かび病、酵母腐敗病、イチジクヒトリモドキ、ゴマダラカミキリ	